

スマートシティ官民連携プラットフォームと PLATEAUコンソーシアムに関して

国土交通省
都市局 国際・デジタル政策課
デジタル情報活用推進室

スマートシティ官民連携プラットフォームについて

スマートシティの政府の推進体制とスマートシティ官民連携プラットフォーム

政府一丸となったスマートシティの推進体制

統合イノベーション戦略推進会議
議長：官房長官、議長代理：科学技術担当大臣

指示 ▼ ▲ 報告

スマートシティ・タスクフォース会合
関係府省（事務局：内閣府）

○関係府省連携による施策推進体制

内閣府
全体総括
スマートシティの設計図
（アーキテクチャ）の構築

デジタル庁
デジタル社会
重点計画など
策定

モデル事例の構築と全国への横展開

国交省
（都市局）
都市インフラに関連
し、複数分野に跨る
モデルプロジェクト

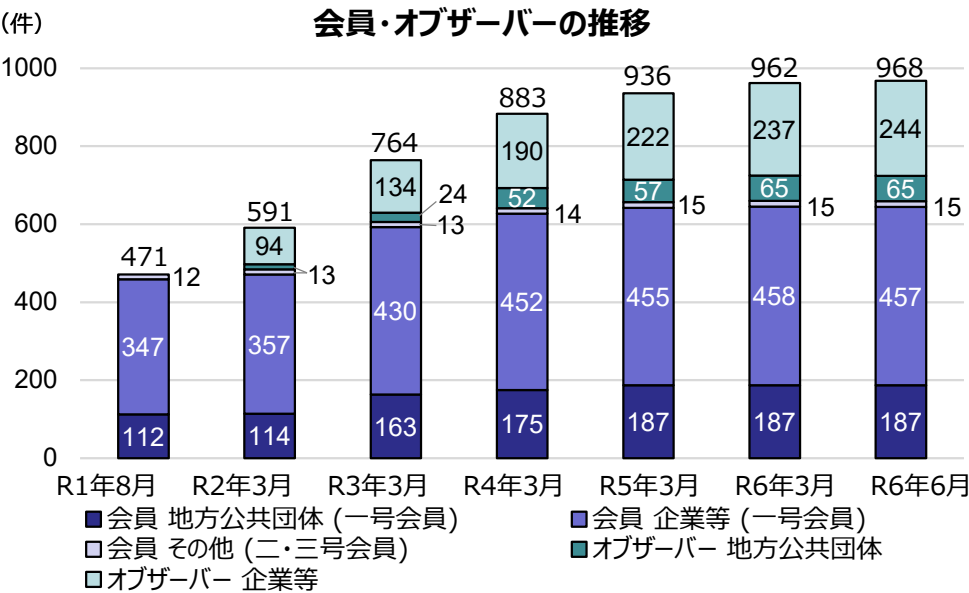
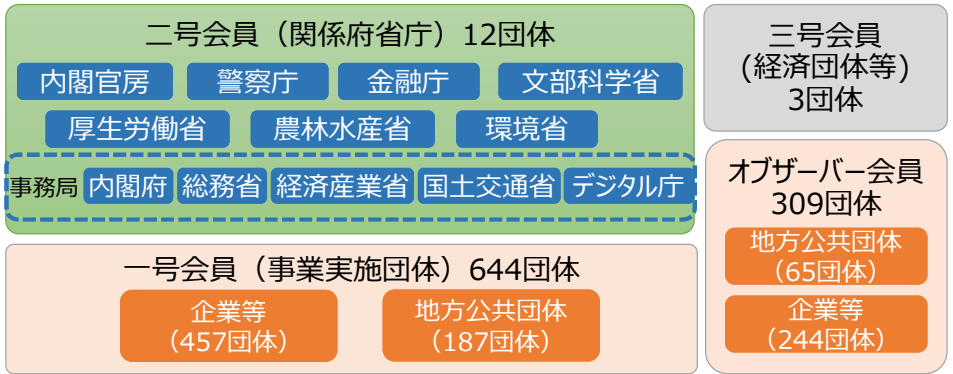
総務省
データ連携基盤を
整備し、複数分野
に跨るプロジェクト

国交省・経産省
（総合政策局）
新たなモビリティサービ
スのモデルプロジェクト

産官学連携によるスマートシティの推進体制

官民の知恵やノウハウを結集してスマートシティの取組を加速すべく、企業、地方公共団体、大学、関係府省等を構成員とした官民連携プラットフォームを令和元年8月に設立

官民連携プラットフォームの構成（合計968団体）

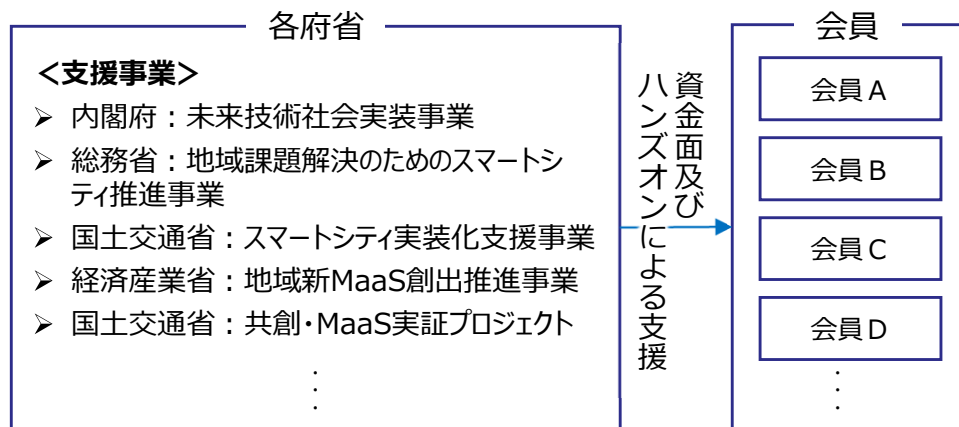


スマートシティ官民連携プラットフォーム－取組内容

プラットフォームの目的 多様なステークホルダーの積極的な参画及び官民連携を推進することにより、スマートシティの取組を加速すること

① スマートシティ関連事業の効果的な推進・重点支援

各府省のスマートシティ関連事業を実施する会員に対して、資金面に加え、ノウハウ面でも各府省が一体となって支援



② 分科会の開催

スマートシティ関連事業の実施にあたり、共通する課題を抱える会員相互で課題の解決策等の検討が必要となった場合、分科会を開催（分科会の成果は会員間で共有）

＜分科会のテーマ（例）＞

都市マネジメント分科会	各種情報、スマート技術の「都市マネジメント」への活用促進
スマートシティの財政面からの持続性確保分科会	スマートシティの財政面での持続性を確保する観点から、各種の方策について現状の整理、解決方向の提示
ネット・ゼロスマートシティ検討分科会	スマートシティの取組により地域のネット・ゼロの実現を加速させる

③ 企業、大学・研究機関、地方公共団体等の間の情報共有・マッチング支援

スマートシティを実現するための実施体制の強化と、スマートシティの実現に資する技術等の横展開が促進されるよう支援

支援内容	詳細
ニーズ・シーズ資料の公開	ホームページ上に地方公共団体のニーズ(課題や求める技術・サービス)に関する資料、民間事業者のシーズ(技術・サービス)に関する資料を公開
マッチングイベントの実施	地方公共団体からのニーズと民間事業者のシーズのマッチングを図るためのイベントを実施



ニーズ資料（現行）

④ 国内外への普及促進活動

各地におけるスマートシティの取組の普及や、モデル事業で得られた知見等の横展開を図るための活動を実施

＜活動イメージ＞

各種会議での情報発信		
	・有識者による基調講演 ・モデル事業における取組の紹介 ・スマートシティ官民連携プラットフォームとしての我が国のスマートシティの取組の発信 等	
	メールマガジン	ホームページ
プラットフォームの会員等に対して、フォーラムの開催案内、ニーズ、シーズの紹介、分科会の情報等を適宜配信		プラットフォームの概要、取組内容の紹介、会員等の募集等を掲載

①政府のスマートシティ関連事業（令和6年度 合同審査の対象事業）

■ 5つのスマートシティ関連事業について、関係府省合同で公募・合同審査会を開催している。

	内閣府 (地方創生推進事務局)	総務省 (情報流通行政局)	国土交通省 (都市局)	経済産業省 (製造産業局)	国土交通省 (総合政策局)
事業名	未来技術社会実装事業	地域課題解決のためのスマートシティ推進事業	スマートシティ実装化支援事業	地域新MaaS創出推進事業	共創・MaaS実証プロジェクト（日本版MaaS推進・支援事業）
概要	未来技術を活用した地域課題の解決と地方創生を目指し、先導性と横展開可能性等に優れた地方公共団体の取組に対して、社会実装の実現に向けた現地支援体制を構築し、関係府省庁による総合的な支援（複数年継続する伴走型支援）を実施	地域が抱える様々な課題（防災、セキュリティ・見守り、買物支援など）をデジタル技術やデータの活用によって解決し、地域活性化につなげるため、地方公共団体等による、都市OSや、都市OSに接続するサービス等の整備・改良にかかる経費の一部を補助	先進的技術等を活用し、まちの課題を解決し、新たな価値を創出するため、都市活動や都市インフラの管理及び活用を高度化するスマートシティの実装に向けて、各地区のスマートシティに関する取組を支援	将来的な技術の進歩も見据え、地域の移動課題の解決を図りつつ、モビリティ関連産業の裾野拡大や競争力強化に繋がる新たなビジネスモデルの創出・横展開に資する先進MaaS実証を推進。	エリアや事業を超えた、快適性・利便性の高い交通サービスの実現に向け、各地のMaaSの取組の連携や、各地域内における交通事業者や他分野の事業者の連携等を促進。
令和6年度予算	0.7億円の内数 (シンポジウム等、普及啓発を目的とした取組に係る費用等)	3.0億円	2.5億円	数億円	279億円の内数
過去の選定数	H30:14事業、R1: 8 事業 R2:12事業、R3:9事業 R4:10事業、R5:2事業 R6:1事業	H29:6事業、H30:3事業 R1:5事業、R2:5事業 R3:9事業、R4:12事業 R5:8事業、 R6:8事業	R1:15事業、R2:14事業 R3 : 20事業、R4:14事業 R5:13事業、 R6:13事業	R1:13事業、R2:16事業 R3 : 14事業、R4:11事業 R5:8事業、 R6:6事業	R1:19事業、R2:36事業 R3:12事業、R4:6事業 R5:6事業、 R6:8事業
主な支援対象	社会実装に向けた関係府省庁による総合的な支援（各種交付金・補助金の活用や、制度的・技術的課題等に対する助言等）	都市OSや、都市OSに接続するサービス等の整備・改良（補助率1/2）	実証事業 ※データ取得等に必要な情報化基盤施設の整備についても都市再生整備計画事業等により支援	モビリティを活用した新たなビジネスモデルの実証を委託事業として実施	・広域的、先進的なMaaS等の取組についての支援 ・新たな決済手段や新しい移動サービスの導入支援、運行情報等のデジタル化支援
問合せ先	未来技術実装担当 電話：：03-6206-6175	地域通信振興課 ict-town*ml.soumu.go.jp	スマートシティプロジェクトチーム hqt-smartcity-mlit*gxb.mlit.go.jp	自動車課モビリティDX室 bzl-contact_mobility_pt*meti.go.jp	総合政策局モビリティサービス推進課 hqt-mobilityservice1002*gxb.mlit.go.jp

②スマートシティ官民連携プラットフォーム－分科会一覧

- 令和元年12月より分科会活動を開始し、これまでに計11の分科会が設立された。
- 令和6年度時点で8つの分科会が存続しているが、令和5年以降に活動実績のある分科会は2つであり、活動が活発な分科会が少ない状況である。

<令和6年度の分科会>

#	提案テーマ名	提案者名	活動開始日	ステータス	最終活動日
1	スポーツを核とした観光、健康、モビリティ、都市OSの検討	KPMGコンサルティング(株)	令和元年12月開始	継続中	令和2年8月20日
2	物流分野の効率化・省力化に関する検討分科会	東京ワンセグ(株)、(株)エコロングデン、石垣ケーブルテレビ(株)	令和元年12月開始	継続中	令和3年11月26日
3	スマートシティの財政面からの持続性確保	有限責任監査法人トーマツ	令和元年12月開始	継続中	令和2年8月24日
4	都市マネジメント	国土交通省、松山アーバンデザインセンター	令和元年12月開始	継続中	令和5年2月15日
5	スマートシティのセキュリティ・セーフティ	総務省、(株)ラック、OGC	令和元年12月開始	継続中	令和3年3月
6	ネット・ゼロスマートシティ検討分科会	PwCコンサルティング合同会社	令和3年7月開始	継続中	令和4年2月15日
7	スマートシティガイドブック分科会	内閣府、総務省、経済産業省、国土交通省	令和3年1月開始	継続中	令和3年3月15日
8	3D都市モデルの整備・活用促進に関する検討分科会	国土交通省都市局	令和3年3月開始	継続中	令和6年3月15日

(参考) 終了した分科会

#	提案テーマ名	提案者名	活動開始日	ステータス	活動終了日
1	観光型MaaSの発展に向けて	(株)JTB	令和元年12月開始	活動終了	令和2年9月
2	ビックデータの有効活用によるEBPMと効率化・生産性向上の推進	(株)JTB	令和元年12月開始	活動終了	令和2年9月
3	スマートシティビジョンの検討および地域へのスマートシティ普及促進	内閣府	令和元年12月開始	活動終了	令和3年3月

③ マッチング支援（オンラインイベント）

■ 令和3年度は、「スマートシティの社会実装、全国展開に向け、官民のマッチングを図ること」を目的にマッチング支援（オンラインイベント）を実施した。

開催趣旨	スマートシティの社会実装、全国展開に向け、官民のマッチングを図ること。														
日時	令和4年3月10日（木） 14:00－17:00※2部制	場所	Zoom（完全オンライン）												
実施概要	① 第1部 ：スマートシティ推進に関する 地方公共団体からのニーズ発表 を行い、 民間の提案事業者から発表 を行った上で、 地方公共団体からの質疑応答やマッチングを図るためのディスカッションを実施														
	＜地方公共団体発表＞ <table><tr><th>地方公共団体</th><th>ニーズ発表内容</th></tr><tr><td>  しじょうなわてし 大阪府 四條畷市 四條畷市 </td><td>実証実験を行った自動運転を起点とした地域主体のまちづくりに活用できる、3Dマップ利活用方法や、買い物支援に関する取組と検討事項等を発表。</td></tr></table>  四條畷市の発表  ハコスコ社の発表 ＜事業者発表＞ <table><tr><th>事業者</th><th>ニーズ発表内容</th></tr><tr><td>  SYMMETRY DIGITAL TWIN CLOUD シンメトリー・ ディメンションズ・インク. </td><td>データ利活用（連携・オープン化・可視化等）の実例紹介や提案等を発表。</td></tr><tr><td>  日本モビリティ 日本モビリティ(株) </td><td>自動運転技術と導入・活用事例等の紹介等</td></tr><tr><td>  ハコスコ (株)ハコスコ </td><td>ヴァーチャル空間上の店舗での買い物（metastore）サービスの紹介等</td></tr></table>			地方公共団体	ニーズ発表内容	 しじょうなわてし 大阪府 四條畷市 四條畷市	実証実験を行った自動運転を起点とした地域主体のまちづくりに活用できる、3Dマップ利活用方法や、買い物支援に関する取組と検討事項等を発表。	事業者	ニーズ発表内容	 SYMMETRY DIGITAL TWIN CLOUD シンメトリー・ ディメンションズ・インク.	データ利活用（連携・オープン化・可視化等）の実例紹介や提案等を発表。	 日本モビリティ 日本モビリティ(株)	自動運転技術と導入・活用事例等の紹介等	 ハコスコ (株)ハコスコ	ヴァーチャル空間上の店舗での買い物（metastore）サービスの紹介等
	地方公共団体	ニーズ発表内容													
	 しじょうなわてし 大阪府 四條畷市 四條畷市	実証実験を行った自動運転を起点とした地域主体のまちづくりに活用できる、3Dマップ利活用方法や、買い物支援に関する取組と検討事項等を発表。													
事業者	ニーズ発表内容														
 SYMMETRY DIGITAL TWIN CLOUD シンメトリー・ ディメンションズ・インク.	データ利活用（連携・オープン化・可視化等）の実例紹介や提案等を発表。														
 日本モビリティ 日本モビリティ(株)	自動運転技術と導入・活用事例等の紹介等														
 ハコスコ (株)ハコスコ	ヴァーチャル空間上の店舗での買い物（metastore）サービスの紹介等														
② 第2部 ：3D都市モデルの整備・活用に関する 各テーマごとに複数の民間事業者からの発表 を行った上で、 参加地方公共団体からの質疑応答やマッチングを図るためのディスカッションを実施															
開催結果	参加者（ニーズ発表団体及び直接対話をする団体）の計22団体に加えて多くのオブザーバー参加があったものの、イベント実施後のマッチングの動向を追っておらず、イベントが官民連携による事業実施につながったかどうか不明である														

④普及促進活動（令和5年度オンラインセミナー）

- 令和5年度はオンラインにて4回のセミナーを開催した。
- セミナーではスマートシティの取組の実装において特に課題感として挙げられているプロジェクト体系、コスト負担や、デジタルリテラシー等に関する情報提供を目的として、プログラム設計を行った。

	セミナー名	日時	アジェンダ	参加者・満足度
概要説明 セミナー	第1回： スマートシティ官民 連携プラットフォーム の説明、令和4年度 業務のユースケース 資料の紹介等	令和5年 6月26日(月)	1. ユースケース資料の紹介 1-1. 国土交通省「スマートシティサービスの連携ユース ケース」の発表 1-2. 和歌山県すさみ町 1-3. 大丸有まちづくり協議会 2. 総務省からの発表	参加者：83件 (官:13%、民:81%、その他:6%) 満足度※：79.3%（n=31） ※各内容において「非常に満足した」、「満足 した」と回答した参加者の平均割合を算出
	第2回： 官民連携のプロジェ クト体系、コスト負 担について	令和5年 9月29日(金)	1. 官民連携プロジェクトの事例紹介 1-1. 群馬県前橋市 1-2. 愛知県岡崎市	参加者：87件 (官:23%、民:74%、その他:3%) 満足度※：84.0%（n=34）
テーマ別セミナー	第3回： デジタルリテラシー 向上について	令和6年 1月12日(金)	1. 自治体DX白書編集委員会からの発表 2. 事例紹介 2-1. 東京都 2-2. UDCM 3.内閣府からの発表	参加者：87件 (官:26%、民:68%、その他:6%) 満足度※：81.3%（n=35）
	第4回： 次年度に向けた検 討・説明セミナー	令和6年 3月18日(月)	1. 内閣府からの発表 2. 関連府省庁からの次年度事業に関する情報共有 2-1. 内閣府地方創生推進事務局からの発表 2-2. 総務省からの発表 2-3. 経済産業省からの発表 2-4. 国土交通省モビリティサービス推進課からの発表 2-5. 国土交通省都市局からの発表 3. 静岡県浜松市からの発表	参加者：110件 (官:23%、民:65%、その他:12%) 満足度※：85.3%（n=43）
説明セミナー 次年度事業				

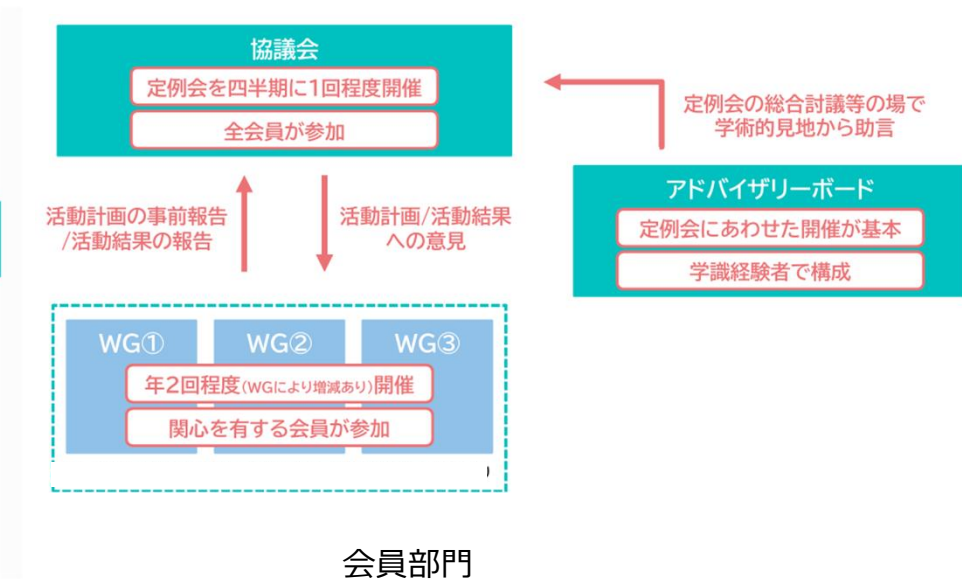
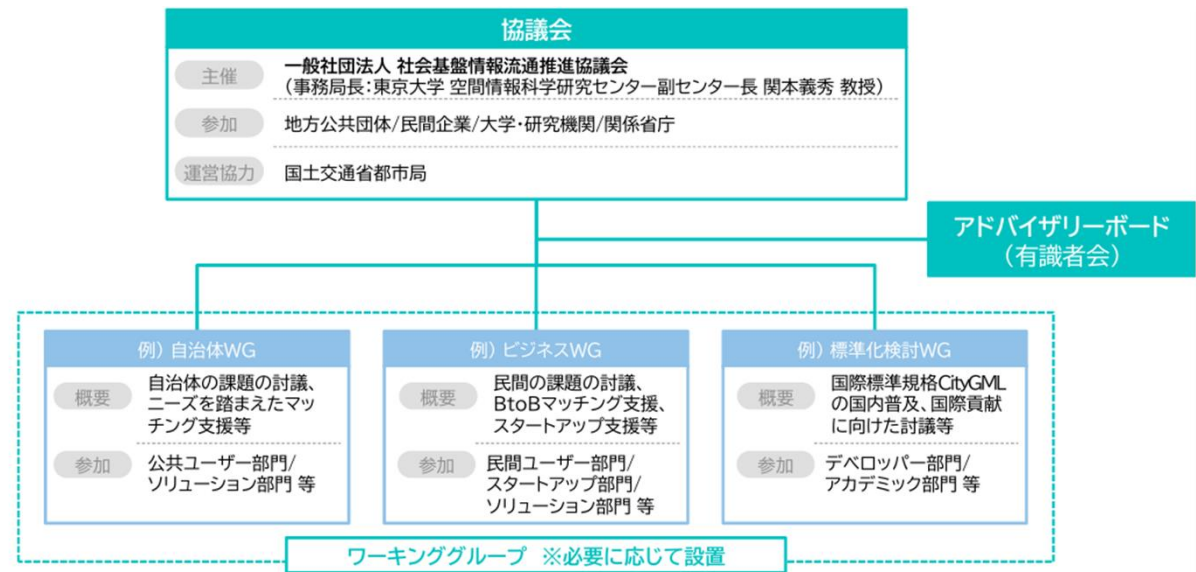
参考：スマートシティ官民連携プラットフォーム公式ホームページ（<https://www.mlit.go.jp/scpf/archives/index.html>）

PLATEAUコンソーシアムについて

PLATEAUコンソーシアム（3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化促進に関する産学官連携協議会）

- 「スマートシティ官民連携プラットフォーム」分科会を改組し、産学官の連携による3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化のエコシステム構築を加速すべく、2023年設立。ユースケースや技術開発等のプロジェクトに関する方向性の討議や成果報告、ニーズ・シーズのマッチング支援が主な活動内容。

【構成・運営方法】



【会員制度】

- 会員の多様な関心に解像度高く応えるため、「会員部門」制度を設け入会希望時には、8つの部門から自らの関心領域を選択。
- 部門ごとに適した会議体やイベント等を実施（例：地方自治体の課題を解決するため、課題の主体である「公共ユーザー部門」と解決策提供主体である「ソリューション部門」からなるニーズ・シーズのマッチングイベントを実施）。

分類	部門	
公共	公共ユーザー部門 PLATEAUのソリューションを用いた地域の課題解決、政策改善、DX等に関心のある公共団体	
民間	民間ユーザー部門 PLATEAUのソリューションを用いたビジネス創出、ビジネス改善、DX等に関心のある民間団体	スタートアップ部門 PLATEAUを用いた新規事業創出等に関心のあるスタートアップ
	ソリューション部門 PLATEAUのデータを用いた新たなソリューション開発やビジネスモデル創出等に関心のある団体	デベロッパー部門 PLATEAUのデータ整備に関する技術開発や品質改善等に関心のある団体
	グローバル部門 PLATEAUのデータやソリューションの海外展開やこれを用いた海外都市開発等に関心のある団体	インベスター部門 PLATEAUを用いたビジネスシーズを投資機会等としたい個人又は団体
学識	アカデミック部門 PLATEAUを用いた教育、研究、学生活動等に関心のある学識者又は団体	

WGの目的

3D都市モデルの整備・活用に取り組む地方公共団体や産学の関係主体との情報共有・意見交換を行うことにより、データカバレッジの拡大、3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化の普及・拡大、地域課題解決や行政サービスの効率化・高度化等に資するユースケース開発の進展など、PLATEAUの社会実装推進につなげる。

解決したい課題

3D都市モデル整備済都市は2023年度末200都市程度に達する見込みだが今後より一層の拡大が期待される。また、地方公共団体においては様々な情報(技術、事業者、先進事例、課題・対策等)が十分に行き渡っておらず庁内外関係者での情報共有が望まれる。さらに地域課題解決や行政サービス向上等に効果を発揮する利活用の進展、社会実装が期待される。

WGでの活動内容及び期待される効果

・ WGでの活動内容

- 活動1:地方公共団体・関係者による情報共有(主に未活用団体)

地方公共団体(主に未活用団体)が必要とする情報・知見について、PLATEAU過年度事業成果の蓄積や先進団体の取組事例紹介等により共有・周知する。また地方公共団体(公共ユーザー部門会員)のニーズや民間事業者等(ソリューション部門会員)のシーズを相互に紹介すること等により官・産間の情報共有を図る。

- 活動2:現状・課題、今後の取組みに関する意見交換(主に活用団体)

3D都市モデルの整備・活用やオープンデータ化における現状・実態、直面しうる課題、現時点での対応策や、今後取り組むべき方策等について情報共有・意見交換を行う。

・ 期待される効果

地方公共団体(未活用団体・活用団体)が必要とする情報・知見を関係者間で共有し、課題や対策を協議することにより、地域・行政の実態・課題に根差した具体的・実効的な取組みが進展することが期待される。

実施スケジュール

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
地方公共団体・関係者による情報共有(主に未活用団体)	関連情報の収集・整理	情報共有機会		
現状・課題、今後の取組みに関する意見交換(主に活用団体)		現状・課題等の情報収集	意見交換機会	今後の取組みの検討

自治体ユースケース紹介イベント(9月下旬予定)

- I. 会議趣旨説明
- II. 今後のスケジュール(事後アンケート回答、マッチングの案内)
- III. ユースケース紹介(防災・防犯、都市計画・まちづくり等)
 - ニーズの高いユースケースをピッチ型で紹介し、参画意欲を高める

WGの目的

技術シーズやソリューション、ビジネスニーズなどを持つ事業者・技術者の交流やユースケースの活用を促進する施策の実施等により、ユースケースの更なる発展と社会実装を推進する。

解決したい課題

技術者間の属人的な人脈に依存せず、異分野の技術が繋がり、画期的なユースケースが生まれやすい土壌を整備する。
また、開発されたユースケースが羅列された状況を脱し、規模・課題等の異なる各ユーザーが自身にとって最適なユースケースを容易に発見し、活用できる状態を実現する。

WGでの活動内容及び期待される効果

WGでの活動内容

- ・ **活動1:技術シーズ・ビジネスニーズの交流・意見交換・マッチングの場の提供**
 - 技術シーズやソリューション、ビジネスニーズなどを持つ事業者・技術者が交流し、新たなユースケースの可能性や克服すべき課題等について意見交換し、官民・民民等のマッチングを目指す
- ・ **活動2:ナレッジの蓄積・展開のための方策の検討**
 - 公共・民間ユーザ部門の会員等からの意見聴取を行いつつ、Project PLATEAU外で開発されたユースケースを含めた、ナレッジの蓄積・展開のための方策を検討・具体化

期待される効果

- ・ 先進技術や技術横断などの画期的なユースケースの開発が進むとともに、各ユーザーが自身にとって最適なユースケースを容易に発見し、活用できることで社会実装が加速する

実施スケジュール

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
シーズ・ニーズの交流・意見交換 マッチングの場		イベント①	イベント②	
ナレッジの蓄積・ 展開方策の検討		課題の整理 (ヒアリング含む)	方策の具体化 (ヒアリング含む)	

民間マッチング支援イベント(10月下旬予定)

- 会議趣旨説明
- 今後のスケジュール(事後アンケート回答、マッチングの案内)
- ユースケース紹介(防災・防犯、都市計画・まちづくり等)
 - ユースケースに関する情報を的確にキャッチさせる

WGの目的

データ利用者やGIS専門家を交えた標準仕様書に関する課題の議論、標準製品仕様書改定案の立案、ユーザビリティ向上施策の検討等の実施等により、データカバレッジの拡大とユースケースの社会実装を推進する。

解決したい課題

3D都市モデルの利用が拡大するにつれ、多様なユースケースに対応した網羅的かつ厳密な標準製品仕様書の改訂ニーズが高まっている。他方、標準製品仕様書の複雑化や高度化は技術的な理解を難しくしており、改定検討に必要な専門性の高度化や利用者の理解を阻害している。

WGでの活動内容及び期待される効果

- WGでの活動内容
 - 活動1:標準製品仕様書のメンテナンス
専門家及び利用者との討議を通じて標準製品仕様書の改定案を立案する。
 - 活動2:標準製品仕様書の普及
標準製品仕様書の利用者との意見交換を踏まえて、標準製品仕様書の普及促進策を検討。
※次年度以降、データ公開に関するAPI等の標準化の必要性も検討する。
- 期待される効果
標準製品仕様書のメンテナンスや普及促進策の実施により、自治体職員、データ整備事業者及びシステム開発事業者の参入障壁を軽減し、カバレッジの拡大・ユースケースの社会実装を促進する。

実施スケジュール

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
標準製品仕様書のメンテナンス	前年度のレビュー	意見交換	改定方針・改定結果のレビュー	
標準製品仕様書の普及		普及方針の確認		今期活動のレビュー

(参考) PLATEAU AWARD

- PLATEAUの実装フェーズを加速させるため、開発者コミュニティを醸成し、エンジニアやクリエイター、プランナー等が自らの技術と3D都市モデルのデータを組み合わせる新たなアプリケーション等を開発する機会を提供。
- 令和5年度はハッカソン等のイベントを全国で29回主催・協力し、延べ2000名以上が参加。その集大成である開発コンテスト「PLATEAU AWARD」で発表されたアイディアは実際のプロダクト開発にも活用される。

■ PLATEAU AWARD 2023 受賞作品

【グランプリ】

PlateauKit + PlateauLab

/ 小関 健太郎



PLATEAUの3D都市モデルをPythonで扱うためのライブラリとコーディング環境を構築。

【UI/UXデザイン賞】

安全運転学習用 Unity版ドライビングシミュレータ「ぷらっとドライブ in 沼津」

/ 九州産業大学 合志研究室



PLATEAUの沼津市のLOD3のデータを活用した車間距離維持教育用のドライビングシミュレータを開発。

【イノベーション賞】

360°歩行映像のPLATEAUへの動的なプロジェクションと洪水可視化-Floodeau-への応用

/ 東京大学 相澤研究室 360-CV班



本日は議論いただきたいこと

■ スマートシティ官民連携プラットフォームとPLATEAUコンソーシアムの運営のあり方

- 会員相互のコミュニケーション機会が少ないなか、都市局としてスマートシティやPLATEAUのマッチングをどのように支援していくべきか。
- スマートシティやPLATEAUの裾野を広げるため、情報提供のあり方を含め、どのように新規参入を促していくべきか。
- 時流に沿ったテーマなど様々な議論を活性化させるための体制・仕組みをどのように構築するか。

■ ニーズ・シーズのマッチングに向けた助言

- スマートシティ官民連携プラットフォームおよびPLATEAUコンソーシアムにおけるマッチング支援の取組方針や運営・各省合意のあり方について、どのように見直す必要があるか。